

レジデント・コンサート vol.12

20世紀の響き と金澤攝

レジデント・アーティストによる
ミュージック工房コンサートの NOW & THEN。
かつて好評をいただいた『20世紀の響き』シリーズから
エルンスト・ペッピング作品を取り上げたプログラムを再現。
そして金澤 攝 近作を交えてお届けします。

DATE	OPEN	START
2020/3/7 SAT.	15:30	16:00

PLACE	TICKET
金沢市民芸術村	一般 1,500 円
パフォーミングスクエア	高校生以下 500 円

チケットお申込みは芸術村 HP（下記）、または芸術村事務局にて
お申込み受付中。
芸術村 HP URL : <https://www.geimura.com/music/resi-con12/>



CAST



池田恵美
(ヴァイオリン)



入江真歩
(ヴァイオリン)



サラ・ペレズ
(ソプラノ)



金澤 攝
(ピアノ・解説)

————— 2019年度レジデント・アーティスト —————

■主催 金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会 ■共催 金沢市、
(公財)金沢芸術創造財団 ■制作 金沢市民芸術村ミュージック工房
■協力 K-CUBIC、ぱふおくる ■後援 北國新聞社
〒920-0046 石川県金沢市大和町 1-1 金沢市民芸術村 ミュージック工房
TEL(076)265-8300 / FAX (076)265-8301

PROGRAM

【序章】

○ ISAO MATSUSHITA (1951-2018)

マントラ (2001) ヴァイオリン

※サウンドブリッジ音楽祭 2019 (マレーシア) 参加報告

【1部】

○ ERNST PEPPING (1901-1981)

- 20世紀の響き vol.16 から -

変奏曲と組曲 (1932) 2つのヴァイオリン

ソナタ第一番 (1937) ピアノ

祖国 - F.G. ユンガーの詩による歌曲集 (1946) 歌とピアノ

【2部】

○ OSAMU N. KANAZAWA (1959 -)

独奏ヴァイオリン ソナタ (1974 / 2019)

鳩 (2001) 歌、2つのヴァイオリンとピアノ

烏枢沙摩 (2018) ピアノ

夢二 二題 (2019) 歌とピアノ

金沢市民芸術村開設(1996年10月)と同時にスタートしたシリーズ「20世紀の響き」は、未知の現代作曲家の魅力年3回のペースで紹介していくセミナー&コンサートであった。私が企画・構成・ピアノを担当、地元在住の若手演奏家、及び OEKの団員たちを共演者として、2006年までに計27回の公演を行った。その多くは作曲家の生誕百年の誕生日を記念して開催されたものである。

各回は事前の予習会を設け、コンサート当日にはテーマ作曲家の楽譜を制作年代順に多数展示。加えて、ほぼ毎回、私が出演者全員の合奏曲を書き下ろすなど、殆どが本邦初演、もしくは世界初演という、国際的にも類例のない試みとなっていた。

爾来およそ20年を経て、再びそのプログラム的一端を振り返る。私の新作披露と併せ、このシリーズの価値を改めて見直したい。

(2020.2.7 金澤 攝)

金澤 攝 (Osamu N. Kanazawa)

作曲家、ピアニスト、音楽史研究家。1959年 金沢市生まれ。15歳で渡仏、独学で作曲を修める傍ら、パリで多くの知られざる作曲家たちの作品に感銘を受ける。78年帰国。以来研鑽を重ね、現在一千名の音楽家を対象として調査、演奏を行っている。第7回・ラロシェル(メシアン)国際コンクール第2位(1位なし)。第1回現代音楽コンクール審査委員長(故・園田高弘)奨励賞、第3回村松賞大賞、金沢市文化活動賞、石川テレビ賞などを受賞。ピティナ公式WEBサイトにて、著作「ピアノ・プロッサム」「音楽における九星」「演奏とコンクール」を掲載。約140点の自作曲がある。著作に「失われた音楽」「表紙の音楽史・近代フランス編」。

【金沢市民芸術村アクセス】

- ・金沢駅より JR 線高架に沿って徒歩 10 分
 - ・北鉄バス「武蔵ヶ辻・近江町市場」発「香林坊」経由「新金沢郵便局」行「大豆田」バス停下車徒歩 5 分
- ※本数が限られているため、予めご確認の上ご利用ください。



Resident Concert vol.12 with Archives